

「農山漁村・土地改良は未来への礎」 を築く



参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。土地改良建設協会
会員各社の皆様におかれましては、佳き新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

また、日頃から私、宮崎雅夫の政治活動に絶大なご理解と
ご協力を賜り心より感謝申し上げます。お陰様をもちまして
昨年七月の参議院議員選挙では当選の栄に浴することができ、
八月の臨時国会から参議院議員としての活動を鋭意続けさせ
ていただいております。

さて、昨年は台風や大雨など、全国各地で大きな災害が発
生しました。被災された全ての
方々に心よりお見舞い申し上げ
ますとともに、早期の復旧・復
興に皆様と力を合わせて対処し
てまいりたいと考えています。

昨今は気候変動に起因すると
考えられる自然災害が頻発して
おり、土地改良施設の災害復旧
や防災・減災対策にあたっては、
こうした異常気象にも屈しないよ
う確実かつ迅速に進めていく必要
があると考えています。

特に、昨年成立した「農業用た
め池の管理及び保全に関する法
律」に基づく対策などを含む国土
強靱化対策は、令和二年度までの
三カ年緊急対策として実施されて



農水委での質問



被災地の視察調査

きたところですが、これ以降においても必要な予算を確保し
て、強靱な国土づくりを進めていくことが必要であり、農業
水利施設等についても同様に計画的かつ機動的な対策を推進
していく必要があります。

また、我が国の農林水産業は、適正な農地の利用や山林の
保全、漁場の管理等を通じて、国民食料の安定供給に加え、
国土保全の一翼を担っていますが、その一方で農林漁業者の
減少や高齢化の進行、人口減少に伴う市場の縮小などの課題
も抱えています。さらに、多くの農業水利施設では、経年変
化による老朽化や機能低下が進行しています。

このため、ストックマネジメントによる取り組みにおいて
も、単なる更新にとどまることなく、将来的な防災や減災、
さらには生産の合理化・効率化、高収益化などの視点から機
能向上を含む整備を進めることが重要と考えています。加え
て、農林水産業に若者が魅力を感じ、新たな担い手として参
入してもらえるような産業にしていく努力も必要であり、農
地の大区画化や汎用化など、働きやすく収益性が確保でき
る基盤を整備することに加え、スマート農業の活用推進を通
じて、一層の競争力強化を進めていくことも必要です。

私は、先人の努力と工夫で築かれた世界に誇れる美しい日本
の農山漁村を次世代に確実に引き継ぎ、そこに生活する人々の
安全安心な暮らしを守るため、進藤金日子議員と力を合わせ、
必要な予算をしっかりと確保しながら皆様とともに土地改良
を推進し農山漁村の振興に全力を尽くして参る所存です。

本年が皆様にとってより素晴らしい一年となりますよう祈
念申し上げます、私の新年の挨拶といたします。